特許協力条約に基づく国際出願

第Ⅱ章

三人の選択による。

国際予備審査請求書

出願人は、次の国際出願が特許協力条約に従って国際予備審査の対象とされることを請求する。

国際予備審査機関記入概 国際予備審査機関の確認 請求費の受理の日 出願人又は代理人の曹類記 PCT01-03035 第Ⅰ欄 国際出願の表示 優先日(最先のもの) (日. 月. 年) 国際出願番号 国際出願日 (日. 月. 年) 15.10.02 PCT/JP03/12406 29.09.03 発明の名称 3 族窒化物半導体発行素子及びその製造方法 第日相 出願人 **蟹話番号**: 氏名 (名称) 及びあて名: (姓、名の順に記載:法人は公式の完全な名称を記載:あて名は郵便番号及び国 03-3494-1111 ファクシミリ番号: パイオニア株式会社 03-3495-4432 PIONEER CORPORATION 加入電信番号: 〒153-8654 日本国東京都目黒区目黒1丁目4番1号 4-1, Meguro 1-chome, Meguro-ku, Tokyo 153-8654 Japan 出願人登録番号: 住所 (国名): 日本国 **JAPAN** 日本国 JAPAN 氏名(名称)及びあて名:(姓、名の順に記載;法人は公式の完全な名称を記載;あて名は野便番号及び国名も記載) 渡辺 温 WATANABE Atsushi 〒350-2288 日本国埼玉県鶴ヶ島市富士見6丁目1番1号 パイオニア株式会社 総合研究所内 c/o Corporate Research and Development Laboratory, Pioneer Corporation 6-1-1, Fujimi, Tsuruqashima-shi, Saitama 350-2288, Japan 住所 (国名): 日本国 日本国 JAPAN **JAPAN** 氏名(名称)及びあて名:(姓、名の順に記載;法人は公式の完全な名称を記載;あて名は郵便番号及び国名も記載) 高橋 宏和 TAKAHASHI Hirokazu 〒350-2288 日本国埼玉県鶴ヶ島市富士見6丁目1番1号 パイオニア株式会社 総合研究所内 c/o Corporate Research and Development Laboratory, Pioneer Corporation 6-1-1, Fujimi, Tsuruqashima-shi, Saitama 350-2288, Japan 住所*(国名)*: 国籍 (国名): 日本国 **JAPAN** 日本国 **JAPAN** その他の出願人が続葉に記載されている。

国際出願番号

า	
_	
_	百

PCT/JP03/12406

第Ⅱ欄の続き 出願人	
この第11個の続きを使用しないときは、この用紙を国際予備審査請求書に含めな	
氏名(名称)及びあて名: <i>(姓、名の順に配載:法人は公式の完全な名称を記載</i>	: あて名は鄭便番号及び国名も記載)
木村 義則 KIMURA Yoshinori	
〒350-2288 日本国埼玉県鶴ヶ島市富士見67	「目1番1号 ' ´
パイオニア株式会社 総合研究所内	
c/o Corporate Research and Development Lab	oratory, Pioneer Corporation
6-1-1, Fujimi, Tsurugashima-shi, Saitama 350-	2288. Japan
6-1-1, rujimi, rsaragasiima-siii, sakama soo i	,
^{国籍(国名):} 日本国 JAPAN	^{住所(図名):} 日本国 JAPAN /
氏名(名称)及びあて名:(姓、名の順に記載;法人は公式の完全な名称を記載	
	(, b) (libertury
宮地 護 MIYACHI Mamoru	F D 4 P 4 D
〒350-2288 日本国埼玉県鶴ヶ島市富士見6	」日1金1万
パイオニア株式会社 総合研究所内	
c/o Corporate Research and Development Lab	oratory, Pioneer Corporation
6-1-1, Fujimi, Tsurugashima-shi, Saitama 350-	2288, Japan 🗸
^{国籍(国名):} 日本国 JAPAN	^{住所(国名):} 日本国 JAPAN
氏名(名称)及びあて名:(姓、名の順に記載:法人は公式の完全な名称を記載	
氏名(名称)及ひあて名:(<i>姓、名の順に記載;法人は公式の元宝な名称を記</i> 載 	以,的(石は野民都与及び四石 6記載)
	·
·	
	•
国籍 (国名):	住所 <i>(国名)</i> :
	4.4700)
氏名(名称)及びあて名:(姓、名の順に記載:法人は公式の完全な名称を記述	取;あて名は郵便番号及び国名も配載)
	,
	·
国籍 (周名):	住所 <i>(国名)</i> :
国籍(国名):	住所 <i>(国名)</i> :
国籍 (国名): その他の出願人が他の統葉に記載されている。	住所 (国名):

` •		国際出願番号
. — о	3 =	PCT/JP03/12406
	3 _頁	PC1/3P03/12406 /
第 田 欄 代理人又は共通の代	表者、通知のあて名	1
下記に記載された者は、	ていた代理人又は共通の代表者は解任され	
氏名(名称)及びあて名: (姓、名の順に記載;法人は公 名も記載)	式の完全な名称を記載;あて名は郵便番	<i>导及び国</i> 電話番号: 03-3543-7869
│ │ 弁理士 藤村 元彦 FUJIMURA Mote	ohiko	ファクシミリ番号:
〒104-0045 日本国東京都中央区築地		03-3545-2898
銀座大野ビル 藤村国際特許事務所 Fujimura & Associates, Ginza-Ohno I	Rida 1-17	加入電信番号:
Tsukiji 4-chome, Chuo-ku, Tokyo 104		代理人登録番号:
		17年八五季班 7 •
通知のためのあて名: 代理人又は共通の代表者が選任されておらず、上	記枠内に特に通知が送付されるあて名を	記載している場合は、レ印を付す。
第1V欄 国際予備審査に対す	る基本事項	
補正に関する記述:*		
1. 出願人は、次のものを基礎として国際予備審査を開	始することを希望する。	
此願時の国際出願を基礎とすること。		
明細苷に関して 出願時のものを書		
特許協力条約第3	3 4条の規定に基づいてなされた補正を基	感覚とすること。
請求の範囲に関して 出願時のものを書	き礎とすること。	
	9条の規定に基づいてなされた補正(添作	
【	3 4条の規定に基づいてなされた補正を基	を続とすること。
図面に関して 出願時のものを割	き礎とすること。	
特許協力条約第3	3 4条の規定に基づいてなされた補正を基	を礎とすること。
2. 出願人は、特許協力条約第19条の規定に基づ	く請求の範囲について行った補正を無視し、	かつ、取り消されたものとみなして開始することを希望する。
3. 出願人が国際予備審査の開始を規則69.	1 (d) に基づき適用される期間の満了	了まで延期することを希望する。
4. 出願人が国際予備審査を規則54の2.1	(a)に基づき適用される期間の満了よ	よりも早く開始することを明示的に希望する。
*記入がない場合は、I)補正がないか又は国際予備審査機関が 2)国際予備審査機関が、見解費又は予備審査報告費の作成		きは、出願時の国際出願を基礎に予備審査が開始され、 きは、これらの補正を考慮して予備審査が開始又は続行される。
国際予備審査を行うための官語は 日本語	であり、	
✓ 国際出願の提出時の言語である。		•
国際調査のために提出した翻訳文の言語である。		
国際出願の公開の言語である。		
国際予備審査の目的のために提出した翻訳文の1	書語である。	
第17 期 国の第4日		,

この様式を用いてされた国際予備審査の請求は、指定され、かつPCT第Ⅱ章に拘束される全ての締約国を選択する国際予備審査の請求となる。

, · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			国際出願番号		
	4 頁		PCT/JP03/12406		
ダVI欄 照合欄					
この国際予備審査請求督には、国際予備審査のために、第IV欄に記載	する官語による			審査機関 入欄	
下記の哲類が添付されている。			受 領	未受領	
1. 国際出願の翻訳文	•	枚			
 特許協力条約第34条の規定に基づく補正費 		枚			
3. 特許協力条約第19条の規定に基づく補正費 (又は、要求された場合は翻訳文)の写し		枚			
4 特許協力条約第19条の規定に基づく説明費				_	
(又は、要求された場合は翻訳文) の写し		枚 ##		H	
5. 苷簡	······································	枚			
6. その他(背類名を具体的に記載):		枚			
 ✓ 納付する手数料に相当する特許印紙を貼付した書面 ✓ 国際事務局の口座へ振込を証明する書面 2. 個別の委任状の原本 3. 包括委任状の原本 4. 包括委任状の写し(あれば包括委任状番号): 	7. 🔲 コンモ		能な形式による配列表 能な形式による配列表 <i>に配載)</i> :		
第VI欄 出願人、代理人又は共通の	つ代表者の記	名押印			
各人の氏名(名称)を記載し、その次に押印する。			· 		
藤村元彦					
	審査機関記	ス 相間 🚤			
1. 国際予備審査請求費の実際の受理の日	TET LE VALUE	<i>-</i>		•	
2. 規則 60.1(b)の規定による国際予備審査請求書の受理の日の訂正			Canada		

2. 規則 60.1(b)の規定による国際予備審査請求書の受理の日の訂正後の日付		_
3. 優先日から19月を経過後の国際予備審査請求督の受理。 ただし、以下の4,5の項目にはあてはまらない。 出願人に通知した。 4. 規則80.5により延長が認められている優先日から19月の期間内	規則 54 の 2.1(a)の期限の経過後の国際予備審査請求費の受理。 ただし、以下の 7,8 の項目にあてはまらない。 7. 規則 80.5 により延長が認められている規則 54 の 2.1(a)の期限	
の国際予備審査請求費の受理 5. 優先日から19月を経過後の国際予備審査請求費の受理であるが 規則82により認められる。	内の国際予備審査請求律の受理。 8. 規則 54 の 2.1(a)の期間の経過後の国際予備審査請求甞の受理であるが規則 82 により認められる。	

— 国際事務局記入欄—

国際予備審査請求費の国際予備審査機関からの受領の日: